

戦争
日本
若者たち——
もう、戻れない。

サクラ花

— 桜花最期の特攻 —

大和田健介 林家三平 橋本一郎 三瓶
城之内正明 奥野瑛太 佐久間悠 三山ひろし
渡辺裕之 磯山さやか キタキマユ 緒形直人



大和田伸也・健介
親子トークショー **開催!**



語り…役所広司

脚本…菅乃廣 松村克弥

監督…松村克弥

亀かずお

平成28年 7月2日(土)

つるがきらめきみなと館 小ホール(敦賀市桜町)

1 部 13:00 上映(開場12:30)
14:30 「大和田伸也・健介親子トークショー」
2 部 15:30 上映(開場15:00)
17:00 「大和田伸也・健介親子トークショー」

入場券 一般 800円(当日1,000円) / 大学生以下 500円(当日500円)

敦賀市戦没者戦災死没者追悼式

敦賀市戦没者戦災死没者追悼式を実施いたしますので、皆様のご参加をお願いします。

【日時】平成28年 7月9日(土) 午前10時30分～
【場所】プラザ萬象

プレイガイド/オーディオ渡辺 敦賀市中央町2-5 tel.0770-22-3456・田代時計修理工房 敦賀市白銀町13-37 tel.0770-22-2903・敦賀FM放送(株) 敦賀市本町2-12-3 tel.0770-23-3370
主催:映画「サクラ花」上映実行委員会 後援:敦賀市・敦賀市教育委員会・福井新聞社・ハーバーステーション



監督/松村克弥 エグゼクティブプロデューサー/櫻井一男・幡谷祐一 プロデューサー/亀和夫・城之内景子 脚本/菅乃廣・松村克弥・亀かずお ラインプロデューサー/戸山剛 アシスタントプロデューサー/菅乃廣・谷口昭仁
キャスティング/増田悟司 監督補・特技監督/石井良和 助監督/杉田満 撮影/はやしまこと 照明/吉角荘介 美術/菊地章雄 鉄道具/大澤克俊 装飾/柴田博英 操演/村石義徳 衣装/森口誠治
編集/小野寺拓也 VFXスーパーバイザー/田中貴志 ヘアメイク/宇都圭史 音楽/坪野竜也 音響効果/丹雄二 事務局長/城之内景子 アートディレクター/藤代範雄 制作/マウンテンゲートプロダクション・映画「サクラ花」製作委員会
主題歌「桜舞う日は」(作詞 海老名香葉子&Yasuha・作曲歌唱 泰葉) 撮影協力:いばらきフィルムコミッション 配給宣伝:映画センター全国連絡会議 宣伝協力:ウィリング株式会社 ©2015サクラプロジェクト

1945年ー

僕らにはばたく空などなかった。

茨城県・神之池基地(現在の神栖市と鹿嶋市)などに秘匿されるかのように存在した「桜花(おうか)」。やがて、特攻作戦のため鹿屋基地(鹿児島県)に集められた若き兵士たちと共に、「桜花」は一式陸攻機(大型爆撃機)に搭載されて、激戦地の沖縄へと向かう。終戦直前の昭和20年6月22日、それは「桜花」最期の出撃でもあった……。

乗員は8名。その中に緊張に震える新米兵士の尾崎(大和田健介)がいる。沖縄まで2時間半。

重い「桜花」を搭載した上、防御機能に劣る一式陸攻は、並外れたスピードと破壊力で”地獄の使い”と恐れられた敵機グラマンにすれば猛攻の的。機内は凄惨な”戦場”と化す。そこには尾崎の想像を超える戦いが待っていた。



ー戦争が廊下の奥に立ってゐたー

監督 松村克弥

映画「サクラ花」の視点のひとつは、戦争は決して70年前の古い絵空事ではないということ今訴えるべきだということです。「戦争が廊下の奥に立ってゐた」(渡辺白泉 昭和初期から始まった新興俳句運動の俳人、戦争の本質を突いた「銃後俳句」で知られる。)という俳句があるんですよ。この句、すごく怖いんです。というのは、ラジオや新聞で見聞きするだけで、他人事と思っていた戦争が、いつの間にかヒタヒタヒタと近づいてきて、フッと家の中を見ると自分の家の廊下の奥にその影が入っていた……。一度はいられてしまったら、もう国民は逃げる事ができない。家族全員が悲劇を背負っていく。この俳句の怖さを描きたいと思いました……。

ー現実の特攻機の中を見てほしいー

エッセイスト・作家 海老名香葉子

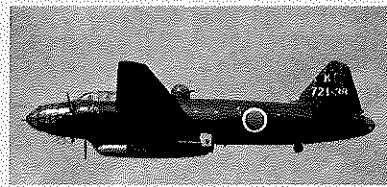
このたび「サクラ花～桜花最期の特攻～」を見て、改めて、この戦争にて散っていった青年たちの機上での精神と本音を知ることができた。

どんなにか、この世に命、留めておきたかったか。狭い空間の中で、悔しい自分の死を嘆くことさえできず死んでいく兵士。死を直前にして、「お母さーん」と言えないことも分かった。

十七歳の二等兵曹の幼さが残る怯える姿に心が痛む。ふるふる震える手。この若き青年になんて惨い使命を与えるのだろう……。現生の先のある青年達を死なせてしまったのだ。現実の特攻機の中を見てほしい……。

平和の今日だからこそ、二度と二度とこの様な哀しみがなきよう映画を通して学んでほしいと切に切に思い願った。

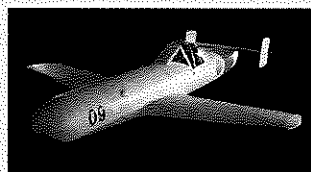
日本中の皆さん、観てください。！
世界中の皆さんにも観て頂きましょう！



「桜花」を抱く一式陸攻機。

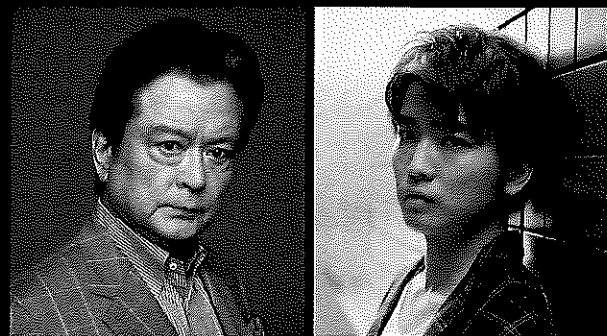
「桜花」とは!

昭和20年に実戦に投入された日本海軍の高速滑空機で、長さ約6mで、頭部に全重量の半分に当たる約1.2トンの爆弾を充填し、尾部に推進ロケットを装備したものであった。一式陸攻機を母機として、その腹下に懸吊されて運ばれ、敵艦隊に近づくと隊員(桜花搭乗員)が母機から乗り移り、ロケットを噴射しつつ滑空して敵艦隊に体当たりを行うものである。桜花の出撃は10回に及んだ。



撮影用に実物大で復原された桜花

大和田伸也・健介 (本作品主役) 親子トークショー開催!!



大和田伸也さん

大和田健介さん

平成28年 7月2日(土)

つるがきらめきみなと館 小ホール (敦賀市桜町)

- 1部 13:00 上映(開場12:30)
14:30 「大和田伸也・健介親子トークショー」
- 2部 15:30 上映(開場15:00)
17:00 「大和田伸也・健介親子トークショー」

入場券 一般 800円(当日1,000円) / 大学生以下 500円(当日500円)

プレイガイド / オーディオ渡辺 敦賀市中央町2-5 tel.0770-22-3456
田代時計修理工房 敦賀市白銀町13-37 tel.0770-22-2903
敦賀FM放送(株) 敦賀市本町2-12-3 tel.0770-23-3370